

第5学年国語科学習指導案

単元名 人間の生き方をえがいた作品を読もう

教材名 『マザー・テレサ』(伝記) 真鍋 和子 作 (東京書籍 小学校5年下)

1 単元について

(1) 児童観

本学級の児童は、文学作品の読解において、登場人物の心情や生き方などを自分なりに読み取るうとし、自分の中で思いをもつことができる。そして、叙述に即して文章や言葉に着目しながら場面の様子や登場人物の心情を読み取っていく学習を経験している。発言するときには、根拠となる叙述を示して自分の考えを述べるができる児童が少しずつ増えてきた。また、本学級の児童は、週に2回の朝の読書タイムで本を読んだり、読み語りを聞いたりすることが好きである。しかし、読む本のジャンルには偏りがあり、伝記や高学年で読んで欲しい本をなかなか手に取らない児童もいるのが現状である。

(2) 教材観

本単元では、本のカバーに伝記の内容を書いて伝えることを目標に置き、伝記に書かれた人物の生き方や思いを読み取ることをねらいとしている。これまで第4学年においては、場面と場面の関係に注意して、心情の変化を想像しながら読み取る学習をしてきた。それを踏まえて第5学年の1学期では、主人公の心情の変化をとらえながら物語の主題に迫っていった。本単元では、伝記に書かれた人物の生き方や考え方を読み取り、人間の生き様について自分の考えを持つ。話し合いの中で、自分の考えを、根拠を基に伝えたり、友達の考えを聞き合ったりして、人間のすばらしさを感じ取らせていく。そして、本単元を経た後は、2月に『注文の多い料理店』で、表現の工夫や登場人物の心情の変化について考える学習へとつなげる。本教材『マザー・テレサ』は、困難な場面でも弱者をいたわり、助け続けた世界の聖母の一生を描いた伝記である。作品は、年代や年齢の記述に沿って、テレサが決心をするまでの経緯、テレサが行った3つのこと、そしてノーベル賞受賞などにかかわるエピソードの3つの大きなまとまりで構成されているので、テレサの生涯が読み取りやすく、深い内容理解が期待できる。表現上の特色として、テレサの人柄を想像させるエピソードや会話文、心内語が多く書かれており、テレサの豊かな行動力や優しさ、意志の強さなど生き様に触れることができる。

(3) 指導観

単元では、各自で伝記を読み進めることと並行して、『マザー・テレサ』を読み取る。テレサの会話文や心内語、行動を根拠にして、その生き方について自分の考えをもたせる。次に、友達と考えを交流し、共通点や相違点を比べながら読み深めていく。それぞれの思いを尊重しながら話し合うことを通して、テレサの生き方に迫らせる。そして、毎時間のまとめとして、読み取ったテレサの生き方や考え方、それに対する自分の考えを本のカバーを書く言語活動を積み重ねていくことで、より深く読み取らせるとともに、自分の生き方についても考えさせていきたい。厳しい環境の中であったにもかかわらず、信念をもって生きてきたテレサの生き方を知ることによって、児童はこれまでの自分を振り返り、「生きる」ということについて考えるきっかけをもつであろう。

また、カバーを作る際には、人物を説明する事実の記述や言動などの叙述に着目し、共感するところや取り入れたいところなどを中心に考えを整理しながら、読み取ってきたことを生かして内容をまとめさせる。さらに、全単元を通して、伝記をいつでも読める環境を作っておく。本単元から他の人物の伝記を読み進め、歴史上の様々な人物の生き方に迫らせていくことは、人物の考え方や

活動に込められた思いを感じ取ることとなり，人間の生き方をより深く考えさせていく手立てになると考える。

2 単元の目標

- (1) 伝記に書かれた人物について，文章内の行動や言葉から，生き方や考え方を読み取ることができる。
- (2) 伝記を読み，読み取ったことや考えたことをブックカバーに効果的に書き，紹介することができる。

3 単元の評価規準

ア 国語への 関心・意欲・態度	1 伝記など事実に基づいた物語を，興味をもって読もうとしている。 2 伝記を読み広げる意欲をもとうとしている。
イ 話す・聞く能力	1 初発の感想や紹介する本の内容，読んで考えたことを整理して話している。【A話すこと・聞くこと(1)エ】
ウ 書く能力	1 紹介する伝記の内容が読み手に伝わるように，読み取ったことや考えたことを効果的に書いている。【B書くこと(1)ア】
エ 読む能力	1 叙述に即して，伝記に描かれたマザー・テレサの行動や考え，生き方を読み取っている。【C読むこと(1)エ】 2 自分の考えを広げたり深めたりするために必要な図書を選んで読んでいる。【C読むこと(1)オ】
オ 言語についての 知識・理解・技能	1 語句の係り方や照応の仕方に気付き，文の構成を考えて紹介の文を書こうとしている。【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ言葉の特徴やきまりに関する事項(※)】

4 指導と評価の計画（全 11 時間）

次	欄	学習活動	指導上の留意点	評価とその方法
一	1	学習の見通しをもつ。 初発の感想を書き，交流する。 学習課題を決める。	・伝記とは何かを考えさせる。 ・「テレサの生い立ち」，「したこと」，「考えたこと」の3つの視点について初発の感想をノートに書いて話し合わせる。 ・話し合いの中から学習課題を決めさせる。 ・本のカバーの作り方を知り，見通しをもたせる。	イ - 1 初発の感想を交流し，学習の課題について話し合っている。 〔ノートの記述〕
	2	場面分けをし，今後の学習計画を立てる。 新出漢字の学習と，言葉の意味調べをする。	・テレサがしたことを年表にまとめ，まとまりごとに場面に分けさせる。 ・場面分けを共通理解させた後，学習計画を立てさせる。 ・書き順に気を付けて，新出漢字を書かせる。 ・意味調べをしたもの（家庭学習）を発表し，意味を確認させる。ノートにまとめさせる。	イ - 1 年表に整理したことを基にして，学習の計画について話し合っている。 〔ノートの記述及び発言〕

二	3	テレサの決心を読み取る。	<ul style="list-style-type: none"> ・インドの国の背景を押さえ、貧しい人たちの姿を読み取らせる。 ・行動や会話文、心内語からテレサの考えや思いを読み取らせ、なぜ決心をしたのかを考えさせる。 	エ - 1 テレサの言葉や心内語に表れているテレサの思いを読み取っている。 〔ワークシートの記述及び発言〕
	4 ・ 5 ・ 6	テレサが貧しい人たちのために行ったことを読み取る。	<ul style="list-style-type: none"> ・3つの視点「テレサがしたこと」、「思い」、「自分の考え」を書き出して考えさせる。 ・テレサがしたことや考えを叙述から探し、読み取らせる。 ・教科書の表現をそのまま抜き出すのではなく、大事な言葉(キーワード)を落とさないように、箇条書きなどでまとめるようにさせる。 ・テレサの行動と思いについて、自分の感じたことを話し合わせる。 ・ブックカバーに書いてまとめさせる。 	エ - 1 テレサの行動や言葉、心内語に表れているテレサの思いを読み取っている。 〔ワークシートの記述及び発言〕
	7	ノーベル平和賞受賞やエピソードから、周りの人々の考えを読み取る。	<ul style="list-style-type: none"> ・事実と周りの人々の考えを明らかにしながら、テレサの行動と思いに注目させ、みんながテレサのことをどう思ったかを考えさせる。 ・ブックカバーに書いてまとめさせる。 	エ - 1 テレサの周りの人々の行動や言葉に表れている考えを読み取っている。 〔ワークシートの記述及び発言〕
	本時	テレサの心とは何か考え、テレサの生き方について読み取る。	<ul style="list-style-type: none"> ・テレサの心を表現している叙述を探して読み取らせ、生き方について考えさせる。 ・テレサの心が今も受け継がれていることを読み取らせる。 ・ブックカバーに書いてまとめさせる。 	エ - 1 叙述に即して、伝記に描かれたテレサの行動や考え、生き方を読み取っている。 〔ワークシートの記述及び発言〕
三	9 ・ 10	興味がある伝記を読み、伝記を紹介するブックカバーを作る。	<ul style="list-style-type: none"> ・書く内容や手順を確認させる。 ・「伝記のあらすじ」「心に残った言葉や行動」「自分の考え」をまとめさせる。 	ア - 1・2 ウ - 1 エ - 2 紹介する伝記の内容が読み手に伝わるように、本のカバーの内容を書いている。 〔ワークシートの記述〕
	11	ブックカバーを紹介し合い、感想を伝え合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ブックカバーを利用させながら伝記の紹介をさせる。 ・発表を聞いての感想を交流させる。 ・学習の成果を確認させる。 	イー - 1 オ - 1 紹介する伝記の内容や、読んで考えたことを整理して話している。 〔発表〕

5 本時の計画（8 / 11）

(1) 目標

今も人々の中に生きている「テレサの心」を考え、テレサの思いについて話し合うことで、テレサの生き方を読み深めていくことができる。

(2) 展開

学習活動	指導上の留意点及び評価
<p>1 前時までに学習したことを想起する。</p> <p>2 本時の学習のめあてをつかむ。</p>	<p>前時までに整理した表をもとに、テレサの言葉（会話文や心内語）を確認する。</p>
<p>テレサの生き方について考えよう ～今も人々の中に生きている「テレサの心」とは何だろう～</p>	
<p>3 六、七、八の場面を音読する。</p> <p>4 テレサの心を表現している叙述を探して読み取る。</p> <p>(1) テレサの心が分かる叙述に、赤線を引く。</p> <p>(2) 赤線を引いた叙述を根拠に、テレサの心とは何かを話し合う。</p> <p style="padding-left: 20px;">グループで考えを交流する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>予想される児童の考え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 貧しい人のために働くことは、神様に使えるテレサにとって何よりも大きなよろこびだったのではないだろうか。 </div> <p style="padding-left: 20px;">全体で考えを交流する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>予想される児童の考え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 貧しい人は神様と同じという考えは、一人一人の人間を、分けへだてなく限りなく大切にすることではないだろうか。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>予想される児童の考え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 同じような表現で、貧しい人は美しいという言葉がある。自分が苦しいときも人に分け与えることができる生き方を示しているのではないだろうか。 </div>	<p>めあてを意識させながら音読させる。</p> <p>テレサの会話文や心内語、行動が表れた叙述に留意させる。</p> <p>グループで考えを交流させ、テレサの心が分かる叙述を確認・整理させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 貧しい人は神様と同じ ・ 貧しい人は美しい ・ 一人一人の人間を限りなく大切に ・ 心の底から人を愛する <p>全体では、なぜ、テレサはそう言ったのかを叙述を基に根拠をはっきりさせて話し合わせることで、テレサの思いや願いに気付かせていく。</p> <p>「貧しい人は神様と同じ」「貧しい人は美しい」の言語表現は、言い換えればどういうことなのかを叙述を基に考えさせる。</p> <p>テレサの心とは何かを、叙述を根拠に話し合わせる中で、「一人一人の人間を限りなく大切に」「心の底から人を愛する」テレサの生き方に迫らせる。</p>
<p>5 テレサの心が今も受け継がれていることを読み取る。</p> <p>(1) テレサが生涯を閉じた後の人々の様子に着目する。</p> <p>(2) 亡くなった後も、人々の中に生きているテレサの心について、根拠を出しながら話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>予想される児童の考え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「数十万の人々でうずまる」「いつまでも花が絶えない」などから、テレサの死を人々が惜しんでいることが伝わってくる。 </div>	<p>テレサの死を惜しむ人々の様子や心情が表われた叙述に着目させる。</p> <p>テレサへの感謝の気持ちを抱き、テレサの生き方・考え方を受け継いでいこうとする人々の心情を、叙述を根拠に話し合わせる。</p> <p>亡くなった後も人々の心に生き続けるテレサの心について話し合わせることで、一人一人の人間を大切にしてきたテレサの生き方に迫らせる。</p>

予想される児童の考え

・一人一人の人間を限りなく大切にした生き方が、人々の心を動かしたのではないだろうか。

6 ブックカバーを書き、本時の学習のまとめをする。

- ・ 七、八、九の場面のあらすじ、心に残ったテレサの言葉や行動、自分の考えを短くまとめて書く。

7 次時の学習を知る。

【評価】

叙述に即して、伝記に描かれたテレサの行動や考え、生き方を読み取っている。〔ワークシート及びブックカバーの内容〕

話し合ったことを振り返りながらまとめさせる。

次時は、伝記を読んでいる人々の生き方を考える学習であることを知らせる。